

令和8年度
事業計画書

しらとり保育所

目 次

1 事業運営計画-----	P 1
2 実施施策の令和8年度行動計画-----	P 1
(1) 利用者一人ひとりの生活を支えるサービスの質の向上-----	P 1
(2) 職員が働きやすくやりがいを感じられる職場づくり-----	P 4
(3) 地域との共生と安定した経営基盤の確立-----	P 6
3 目標利用率-----	P 9
4 固定資産物品購入計画-----	P 9
5 修繕計画-----	P 9
6 大規模修繕計画-----	P 9

1 事業運営計画

事業の種類及び利用定員				
1	保育所事業	90名		
2	一時預かり事業			
運営方針				
(1)	子どもの最善の利益を考慮し、安心安全を支える保育所づくりに努めるものとする。			
(2)	家庭との緊密な連携の下に、所児の状況や発達過程を踏まえ、施設における環境をとおして、養護及び教育を一体的に行うものとする。			
(3)	家庭や地域との連携を図りながら、保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行うものとする。			
(4)	専門的知識、技術及び判断をもって保育し、保護者に対する保育に関する指導を行うため職員の専門性の向上に努めるものとする。			
職種別職員配置				
職種	正規職員	準職員	非常勤職員	合計
所長	1			1
副所長	1			1
主任保育士	1			1
保育士	8	10	3.5	21.5
看護職員			0.7	0.7
事務職員			0.7	0.7
調理員	1	1	2.1	4.1
用務員			1.2	1.2
合計	12	11	8.2	31.2
県市町村等からの受託、補助事業等				
1	松江市特別保育事業			
2	私立認可保育所等年度中途児童受入対策事業			
3	障がい児保育対策事業			
地域における公益的な取組				
1	近隣の子育て家庭への交流の場の提供と助産師との連携による相談支援を目的とした保育所開放「なかよし広場」の実施			
2	和太鼓演奏を通じた「なごやか寄り合い」や福祉施設の利用者との交流会の実施			

2 実施施策の令和8年度行動計画

(1) 利用者一人ひとりの生活を支えるサービスの質の向上

ア 個別ニーズに応じた専門的なケアの充実で、個々の利用者 QOL を高める。

実 施 策	保育の質の向上
取組の方向性①	研究テーマに基づいた保育を実践するための体制を整え、職員が主体的に研究に取り組む。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマを設定し、各年齢での捉えや方向性を語り合う。自主研修のメンバーが中心となり、年間で計画的に保育語り合いの内容を設定する。 テーマトーク、園内散歩、描画鑑賞、行事の在り方等について語り合いを行う。(年7回)
取組の方向性②	子どもの主体性を大切にした保育を実践する中で、子どもの興味や関心、発達や生活の様子に合わせた環境づくりに継続して取り組む。地球環境を意識することができるよう子どもたちと一緒に学び、実施可能な取組を行う。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> 環境系のメンバーが中心となり、手作り玩具の作成や所庭環境の改善等と呼びかける。(年2回) しまね自然と環境財団(エコサポしまね)等と連携してSDGsの取組を行う。(5月)

実 施 策	子育て支援の充実
取組の方向性①	保護者の子育て力を支援していけるよう、育児講座や育児情報発信等で子育て力の強化を図る。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> 育児に役立つ内容(メディアとの付き合い方)を盛り込み、育児講座を実施する。(年1回) 保護者が保育アプリでも情報を分かりやすく受け取れるよう、クラスだよりについて見直す。
取組の方向性②	子どもが主体の取組となるよう、様々な行事の在り方について保育方針や保護者のニーズをもとに検討し、保護者の理解を図る。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> 子ども主体の内容で取り組むことができるよう、運動会、きりん組チャレンジデーについて在り方を検討して実施する。 保育所の取組について保護者アンケートを実施し、来年度の計画に反映させる。(12月)
取組の方向性③	個別に支援が必要な家庭や児童について、専門機関と連携して細やかに対応し、保護者と共に支援を検討する。
行 動 計 画	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や他機関との連携について、所内で支援会議を行う。(年3回) 保護者との個別の支援会議を実施し、共通認識をもって支援を行う。(年3回) 個人懇談を実施し、保護者の思いを傾聴し寄り添いながら相談に乗る。

イ 安全安心で快適な暮らしを保障し、利用者の満足度を高める。

実施施策	リスク管理の徹底
取組の方向性①	法令やガイドラインの改正等に伴う各種マニュアルの整備、様々な状況を想定した訓練等を行い、危機管理の徹底を図る。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 安全計画の内容や各種危機管理マニュアルの読み合わせを行い、内容を見直す。 近隣施設と連携した訓練、大地震や水災害、不審者対応等、現状に合わせて実際起こり得る想定を盛り込んだ訓練を計画する。 保育の安全確保と職員の安心を守るため、重要事項説明書の見直しに向け、ハラスメント対策や免責事項を整理する。(年1回)
取組の方向性②	保育の振り返りを行い、不適切保育を防止する。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 保育者自身が不適切な養育や保育がないか振り返る機会となるよう、人権擁護のためのチェックリストや自己評価表を使用したセルフチェックを定期的に行う。(年3回) 子どもの人権「こどもまんなかビジョン」についての所内研修を行う。(年1回)

実施施策	安全で衛生的な環境づくり
取組の方向性①	ヒヤリハットをもとにした安全な環境づくりと効果的な事故検証及び職員研修、児童や保護者への安全教育と体づくりの促進を行い、事故の発生を防止する。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> リスク管理検討委員会において毎月ヒヤリハットを検証し、3 か月ごとに事故を分析する。 年間計画に基づき、朝の集いにおいて時節に合わせたテーマ（交通事故防止、熱中症対策、誤嚥事故防止、生命の安全教育、体づくり等）を選定する。また、様々な教材を活用することで、児童の理解を深めるとともに保護者への啓発を図る。(月1回)
取組の方向性②	乳幼児の保育環境や食事環境の安全と衛生を保ち、子どもの成長や発達を支える。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 全職員が安全と衛生の視点で環境に目を向け、クリーンタイムの場所を決めて行う。(月2回) 食育検討会において食事環境を振り返り、改善する。(年2回)

ウ テクノロジーを活用した根拠のあるケアの提供で、サービスの質を高める。

実施施策	ICTの有効活用
取組の方向性①	保育内容を保護者と共有し保育への理解を図る等、スマートフォンや保育アプリの有効活用を推進する。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 職員間の情報共有をタイムリーに行えるよう、保育アプリやタブレットの活用方法を検討する。(年2回)

	<ul style="list-style-type: none"> 配信サービスや音楽アプリの運用方法及び導入を検討する。(年1回)
取組の方向性②	<p>児童や保護者にメディア教育を行い、職員もメディア教育について学ぶことで子どもの健やかな育ちを支える。</p>
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 職員を対象にメディアとの付き合い方に関する所内研修を行う。(7月) 保育において、写真や動画等を教材として効果的に活用する。

(2) 職員が働きやすくやりがいを感じられる職場づくり

ア 採用ブランディングの強化と多様な人材活用で、優秀な人材を獲得する。

実施施策	採用活動の充実
取組の方向性①	ハローワーク、保育人材バンクと連携を取り、情報収集を行う。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 職員体制に合わせてハローワーク、福祉人材センターに随時求人を出す。 定期的に関係機関と連絡を取り、求人状況の確認を行う。 保育補助制度等の活用を検討する。
取組の方向性②	実習生の受け入れを計画的に行う。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 各養成校と連携を取り、積極的に実習生の受け入れを行う。 高校生や中学生の職場体験の受け入れを積極的に行う。

実施施策	広報活動の強化
取組の方向性①	法人のPRチームと連動してホームページや広報誌等の在り方を検討し、活性化する。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 法人インスタグラム及びホームページの果たす役割を明確にし、効果的に活用する。また、担当者は確実に更新する。(年3回) ホームページの保護者専用ページ「しらとりアルバム」への写真掲載に加えて、公開ページへの写真掲載を行う。(年3回)
取組の方向性②	地域イベントへの積極参加や取材依頼等、テレビや新聞等のメディアを通して当所の魅力を発信する。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域のイベント等への参加の他、防災訓練等地域や行政と連携した取組を行い、テレビ局や新聞社等へ取材を依頼する等、多方面に働きかける。 地域向け保育所だより「しらとり通信」を保育士養成校や近隣の高校や中学校等にも範囲を広げ送付する。

イ キャリア形成の仕組みを整え、職員が成長を実感できることで個々のモチベーションを高める。

実施施策	職員の専門性の向上
取組の方向性①	キャリアアップ研修等の学びを通し、職員一人ひとりが役割をもって十分に専門性を発揮する。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初に研修計画を作成し、計画に沿って職員を研修に派遣する。

	<ul style="list-style-type: none"> 主任、副主任、主担任が中心となって全体の連携やクラス運営において専門性を発揮する。
取組の方向性②	外部研修及び所内研修の効果的な受講を促進する。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 様々な研修に職員が参加できるよう、オンライン研修や動画配信等を有効活用し、学びの機会を確保する。 様々な専門分野（音楽表現・自然環境）の講師に指導を依頼し、保育に活かすことのできる実践的な研修を実施する。 職員の主体的な学びを促すため、グループワークを中心とした参加型の研修を企画・実施する。

実施施策	職員交流の活性化
取組の方向性①	新任職員へのサポートを強化し、安心して働くことができるように取り組む。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 新任職員の指導担当者を決め、気軽に相談したり支えたりすることができるよう定期的に話す機会をもつ。
取組の方向性②	職員一人ひとりがやりがいをもって業務にあたることができるよう、意見交換や相談できる機会をつくる。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 全職員を対象に所長との面談を実施する。（年2回） 正規職員を対象に人事考課面接を実施する。（年3回） 準職員と非常勤職員を対象に意見交換会を実施する。（年1回）

ウ 風通しの良い職場風土づくりで、健康的で働きやすい職場環境を構築する。

実施施策	職場環境の改善
取組の方向性①	検討チームや担当が中心となり、所内の連携をとりながら業務を進める。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 検討チームや各担当においてメンバー内で協議し、内容を会議等で全職員に共有する。
取組の方向性②	業務の見える化を推進するとともに、レクリエーション等を通して職場内のコミュニケーションを活発にする。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 必要な内容が目に入るよう、ホワイトボードを分かりやすく整理する。 活発にコミュニケーションをとることでチーム力を強化できるよう、レクリエーションを実施する。（年1回）

実施施策	心身の健康管理
取組の方向性①	健康的で働きやすい環境となるよう、ワークライフバランスやメンタルヘルス、ハラスメントへの理解推進と対策を継続して行う。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 自分のライフステージをイメージし、働き方や休暇の取り方を職員間で語り合うことで、ワークライフバランスについて考える機会をもつ。 職員のメンタルヘルス研修及びハラスメント防止研修を実施する。（年

	1回)
--	-----

エ ICT の活用で業務の生産性を高め、職員の多様な働き方を実現する。

実施施策	業務の効率化
取組の方向性①	ICT を活用することにより効率化を図ると共に簡略化できるものを整理していく。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 保護者への案内文書をペーパーレス化し、参加者確認等にアンケート機能を活用する。
取組の方向性②	常勤職員の役割を整理し、目的を共有した上で業務を分担する。多様な働き方のための体制づくりを行い、ノンコンタクトタイムが安定してとれるように取り組む。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 写真データの整理を複数担任間で共有しながら行えるよう、ホームページの保護者専用ページ「しらとりアルバム」への掲載内容や時期、チェック項目を一覧表にする。 研究保育の参加方法を見直し、多くの職員に参加機会をつくる。 ノンコンタクトタイムが取れるよう、合同保育の体制を定期的に見直し検討する。(年2回)

(3) 地域との共生と安定した経営基盤の確立

ア 地域の関係機関との連携を深め、地域の中で果たすべき役割を明確にする。

実施施策	地域の子育て支援
取組の方向性①	地域のニーズに合わせて一時預かり保育を推進し、地域の子育て支援を進める。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 一時預かり保育利用者のニーズや近隣保育施設の利用者数等について情報収集し、経営企画会議で共有する。(年3回) 一時預かり保育の利用者を対象に「わくわく参観日」を企画する。(6月・10月) 個別に支援が必要な家庭には、助産師や保健師との連携を働きかける。
取組の方向性②	保育所開放「なかよし広場」の在り方を検討し、相談支援を充実させる。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 在宅で子育て中の方を対象に、「なかよし広場」を年間で計画的に実施する。(5月～12月、年12回) 「なかよし広場」の内容を幅広く設定し、子どもが遊びを選んで柔軟に参加できるようにする。

実施施策	小学校及び地域との連携推進
取組の方向性①	小学校や近隣保育施設と連絡を密にし、幼保小連携を推進する。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 小学校や近隣の保育施設に研究保育を公開し、保幼小の連携を深めるとともに、他施設の公開保育等に積極的に参加する。

	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが小学校を身近に感じられるよう、近隣保育施設と連携し小学校等に出かけ、5歳児同士や小学生と交流する機会をもつ。 「松江市こどもまんなか架け橋期カリキュラム」に基づき、小学校との接続・連携内容を充実させる。
取組の方向性②	地域とのつながりの重要性を理解し、連携して交流活動を行う。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 近隣施設利用者や住民を招待し、和太鼓演奏を披露する。(10月) 地域に呼びかけ、避難訓練を地域と合同で実施する(年1回) 地域の人に勤労感謝の気持ちを伝える取組を入所児童が中心となって行えるようにする。 法人内の施設と交流活動を実施する。 子どもが地域とのつながりを感じることができるよう、近隣の公共施設や教育機関等との交流を行う。 地域住民の意見を反映させるため、保育所運営に関するアンケート調査を実施し、ニーズを把握する。

イ 収入の安定確保と経費増大の抑制で、安定性の高い財務体質を維持する。

実施施策	圏域の利用ニーズに基づく定員の弾力運用
取組の方向性①	各種補助金や加算制度を活用していく。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 収支を安定させるため、補助金について情報収集し活用する。 関係機関と連携を取りながら、現状に合わせて可能な加算を利用できるよう検討する。
取組の方向性②	圏域の情報収集を行い、内部体制を調整して入所児童数を確保する。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 月ごとの入所児童の受け入れを積極的に行い、入所児童を確保する。 松江市の不承諾者数や待機児童情報を精査し、ニーズに合わせた年齢枠の変更や保育室の環境整備を行う。

実施施策	計画的な施設整備と経費の抑制
取組の方向性①	危険箇所を早期に発見できるよう定期点検を実施し、計画的な整備を行う。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検表の項目に沿って複数職員で定期点検を実施する。(月1回) 衛生管理点検表に基づき、担当が中心となって整備する。(月1回) 職員による遊具の自主点検を行い、早期に危険箇所を発見し修繕する。(6月)外部の委託業者に所庭遊具や設備の点検を依頼し、定期的実施する。(10月)点検結果を職員間で共有し、安全に遊ぶことのできる環境を保つ。
取組の方向性②	備品の管理を徹底して大切に取り扱うとともに、費用対効果の高い購入を検討し経費を抑制していく。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 備品リスト及び取扱説明書のファイルを階ごとに管理し、活用する。 備品リストを担当者が定期的にチェックし、変更点があれば修正する。

	<p>場所ごとに担当者を決め、備品の状態や劣化を把握する。(年2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 備品購入にあたっては比較検討を重ね無駄のない購入となるようにする。コスト削減検討会において、消耗品のコストや備品の価格を職員に周知し、大切に使う意識を高める。
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

ウ 中長期的な視点をもった事業運営で、経営の持続性・透明性を高める。

実施施策	施設ビジョンに基づいた運営
取組の方向性①	堅実な運営を継続していくため、施設ビジョンについて長期的な視点で話し合うことで職員が共通認識をもち、具体化していくことができるようにする。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委託費や補助金による収入、一時預かり事業の実績報告と収支状況等、当所の運営状況について知る機会となるよう、経営企画会議において情報共有する。(年1回) ・ 施設ビジョンについて長期的な視点で話し合う機会をもち、次年度の事業計画を立案する。(1月)

実施施策	安定的な経営
取組の方向性①	経営状況や制度改革の動向を法人本部及び職員間で共有し、安定的な経営を行う。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安定的な経営をしていくため、行政や近隣保育施設の情報を収集する。 ・ 制度改革の動きについて経営企画会議で情報共有する。

3 目標利用率

事業名	令和6年度実績	令和7年度見込	令和8年度目標
保育所事業	118.0%	118.0%	118.0%
一時預かり保育事業	2,004人	1,600人	2,100人

4 固定資産物品購入計画

(単位：千円)

項目	数量	執行見込額(税込)
空調設備(0歳児保育室・ほふく室・事務室)	3台	2,316
ノートパソコン	1台	154
デスクトップパソコン	1台	154

5 修繕計画(大規模修繕を除く。)

(単位：千円)

項目	執行見込額(税込)
テラス修繕工事(0歳児保育室南側)	572
保育室床張り替え壁紙張替え	844

6 大規模修繕計画

(単位：千円)

項目	執行見込額(税込)
該当尾なし	